

# 第36回 関東地区大学教育研究会

【日時】 2019年9月21日(土) 13時30時より

【会場】 桜美林大学 四谷(千駄ヶ谷)キャンパス <裏面参照>

【参加費】 1,000円 【懇親会費】 4,000円

(非会員の方もご参加いただけます。また桜美林大学の教職員・学生は、参加費無料です)

13:00 ~ 受付 <1階ホール>

13:30 ~ 13:50 総会

14:00 ~ 14:50 自由研究発表

- |                                   |             |
|-----------------------------------|-------------|
| ① 自由教育再考 - 『21世紀の一般教育』について考える-    | 志津木 敬       |
| ② 米国の大学における学修支援専門職の今 -日本はどうあるべきか- | 大西 好宣(千葉大学) |

15:00 ~ 17:30 シンポジウム

## 大学人の学びのリテラシー - “やらされ” FD・SD を超えて-

“大学改革”の流れとともにFD・SDの必要性がうたわれ始め、設置基準においても努力義務から実施義務へと規定されるようになり、各大学においてはFD・SDと銘打った研修等が実施されています。また会場の桜美林大学を始めとするいくつかの大学では、高等教育関連の大学院プログラムも開設されてきたものの、そうしたプログラムで腰を据えて体系的に学べる教職員はまだ少数にとどまるなど、“大学改革”とともに多忙化する大学の現場では、FD・SDも含めて、目の前の業務に対する“やらされ感”が蔓延しています。

本シンポジウムでは、そうした環境の中でも大学人として独特なキャリアを築いて来られた3氏 - 社会人教育部門の事務職員から学部教育を担う教員になられた古賀氏、技術職員として教育研究支援の課題に取り組んで来られた長谷川氏、大学基準協会の職員から大学教員の今に至るまで一貫して大学評価の課題に取り組まれている前田氏 - をシンポジストに迎え、それぞれの大学人としての学びの経験とFD・SDに対する課題意識を発題いただき、フロアの参加者と共に、“やらされ感”を克服・打開した、大学人としての真の生涯発達(Development)となるFD・SDのあり方を探っていきたい。

シンポジスト： 古賀 暁彦(産業能率大学 情報マネジメント学部教授)  
長谷川 紀幸(横浜国立大学 理工学部技術専門職員)  
前田 早苗(千葉大学 国際教養学部教授・全学教育センター長)  
司会： 出光 直樹(横浜市立大学) 小島 理絵(日本私立大学協会)

18:00 ~ 19:30 懇親会 <上海飲茶 猪八戒 千駄ヶ谷本店>

【参加申込】9月17日(火)までに、横浜市立大学 出光 直樹 naoki@idemitsu.info までメールにてお申込み下さい。その際、件名に【関東地区大学教育研究会 参加申込】と明記のうえ、本文に ①氏名、②所属、③懇親会参加の有無をお知らせください。  
参加費・懇親会費は当日会場にて申し受けます。

# 桜美林大学 四谷(千駄ヶ谷)キャンパス

JR 千駄ヶ谷駅（≡ 都営地下鉄大江戸線 国立競技場駅）より徒歩6分  
または、東京メトロ 北参道駅より徒歩5分

